REF 4-152-259-**03**(1)

デジタルカラープリンター

取扱説明書

UP-D25MD

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4 〜 10 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。
24 ページの「本機の性能を保持するために」も併せてお読みください。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店にご連絡ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

❶ 電源を切ってください。
❷ 電源コードや接続ケーブルを抜いてください。
❸ お買い上げ店までご相談ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

指示

アース線を接続せよ

目次

はじめに

準備

操作

その他

⚠警告

火災　感電

下記の注意を守らないと、
火災や**感電**により**死亡**や**大けが**に
つながることがあります。

表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。
日本国内では 100 V でお使いください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・電源コードを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電発火の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を与える
ことがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

指示

付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

製品の上に乗らない、重いものを乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 10 cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

指示

お手入れの際は、電源を切る

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。
次の方法でアースを接続してください。

- 電源コンセントが３極の場合
  付属の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。
- 電源コンセントが２極の場合
  付属の３極→２極変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取り付けることができない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。

指示

電源コードの電源プラグ及び電源コネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまでさしこまないと、火災や感電の原因となります。

禁止

プリント紙排出口をのぞかない

プリント紙排出口からプリントされた紙が排出されますので、のぞきこむと失明やけがの原因となることがあります。プリント紙排出口はのぞかないでください。

禁止

本体内部の部品をさわらない

必要な時（ヘッドクリーニング、紙づまりの処理など）以外に、本体内部の機構部品をさわると、シャープエッジなどにより、けがの原因となることがあります。

禁止

リボンドアパネルを開けたままにしておかない

リボンドアパネルを開けたままにしておくと、ぶつけたり、落下してけがの原因となることがあります。

医療環境で使用するための重要なお知らせ

1. 本機に接続する全ての機器は、安全規格の IEC60601-1、IEC60950-1、IEC60065、あるいは機器に適用できる他の IEC/ISO 規格等に従って承認または適合しているものをご使用ください。

2. さらにシステム全体として IEC60601-1-1 規格に適合していなければなりません。信号入力部分あるいは信号出力部分に接続する全ての周辺機器が医療用のシステムとして構成されるため、システム全体として IEC60601-1-1 の規格要求に適合する責任があります。疑義がある場合には、ソニーの営業担当にご相談ください。

3. 他の機器と接続すると、漏れ電流を増加させる可能性があります。

4. この特定の機器のために、すべての周辺機器は上記のように接続し、IEC60601-1 の構造要求と最小基礎絶縁を備えている追加した絶縁トランス経由で商用電源に接続してください。

5. この機器は無線周波エネルギーを発生、利用しており、周囲に放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置、使用されない場合、他の機器に対して電磁波障害を引き起こすかも知れません。この機器が電磁波障害を起こす場合は（この機器から電源コードのプラグを抜くことにより確認できます）、以下の方法を試してください。
   電磁波障害を受けている機器に対して、この機器を移動してください。この機器と電磁波障害を受けている機器を異なる電源系統のコンセントに接続してください。

ソニーの営業担当にご相談ください。
（適合規格：IEC60601-1-2 と CISPR11、Class A、Group1）

医療環境で使用するための EMC に関する重要なお知らせ

・ UP-D25MD は、EMC に関して特に注意する必要があり、取扱説明書で提供される EMC 情報に従って設置及び使用する必要があります。
・ UP-D25MD は、携帯電話のような、携帯型及び移動型の無線通信機器に影響を受けることがあります。

警告

ソニー株式会社によって指定されたもの以外のアクセサリーやケーブルを使用すると、UP-D25MD のエミッション（電磁妨害の放射）増加やイミュニティ（電磁妨害の耐性）低下を招くことがあります。

指針及び製造業者の宣言－電磁エミッション		
UP-D25MD は、下記の電磁環境で使用することを前提としています。 UP-D25MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用することを確認してください。		
エミッション試験	適合性	電磁環境－指針
無線周波エミッション CISPR 11	グループ 1	UP-D25MD は、内部機能のためだけに無線周波エネルギーを使用しています。そのため、無線周波エミッションは非常に低く、近傍の電子機器を妨害することは、ほぼありません。
無線周波エミッション CISPR 11	クラス A	UP-D25MD は、家庭及び家庭用に使用される建物に給電する公共の低電圧配電網に直接接続されている建造物を含むすべての建造物での使用に適しています。
電源高調波エミッション IEC 61000-3-2	クラス A	
電圧変動 / フリッカ　エミッション IEC 61000-3-3	適合する	

警告

UP-D25MD を他の機器と隣接または積み重ねて使用する場合には、その使用構成で正常に動作していることを確認する必要があります。

指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ			
UP-D25MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。UP-D25MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用することを確認してください。			
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
静電気放電（ESD） IEC 61000-4-2	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	床材は木材、コンクリートまたは陶製タイルとしてください。床材が合成物質で覆われている場合、相対湿度が、少なくとも 30% 以上であることを条件とします。
電気的ファストトランジェント（高速過渡現象）/ バースト IEC 61000-4-4	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
電源入力ラインでの電圧ディップ、瞬停、および電圧変動 IEC 61000-4-11	<5% U_T （>95% ディップ、U_T 時） 0.5 サイクルの間 40% U_T （60% ディップ、U_T 時） 5 サイクルの間 70% U_T （30% ディップ、U_T 時） 25 サイクルの間 <5% U_T （>95% ディップ、U_T 時） 5 秒間	<5% U_T （>95% ディップ、U_T 時） 0.5 サイクルの間 40% U_T （60% ディップ、U_T 時） 5 サイクルの間 70% U_T （30% ディップ、U_T 時） 25 サイクルの間 <5% U_T （>95% ディップ、U_T 時） 5 秒間	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。 UP-D25MD の使用者が、停電中も継続して運用することが必要な場合は、無停電電源装置又はバッテリーから UP-D25MD に電源供給することを推奨します。
電源周波数（50/60 Hz） 磁界 IEC 61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数磁界は、典型的な商用または病院環境内の典型的な場所での特性レベルである必要があります。
備考 : U_T は、試験レベルを加える前の機器の定格電源電圧である。			

<table>
<tr><th colspan="4">指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ</th></tr>
<tr><td colspan="4">UP-D25MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。UP-D25MD のお客様または使用者は、下記の環境で使用されることを確認してください。</td></tr>
<tr><th>イミュニティ試験</th><th>IEC60601
試験レベル</th><th>適合性レベル</th><th>電磁環境－指針</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>携帯型及び移動型の無線通信機器は、ケーブルを含む UP-D25MD のどの部分に対しても、無線通信機器の周波数に対応した式から計算された推奨分離距離以下に近づけて使用しないでください。

推奨分離距離</td></tr>
<tr><td>伝導性妨害

IEC 61000-4-6</td><td>3 Vrms

150 kHz ～ 80 MHz</td><td>3 Vrms</td><td>$d = 1.2 \sqrt{P}$</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>$d = 1.2 \sqrt{P}$　80 MHz ～ 800 MHz

$d = 2.3 \sqrt{P}$　800 MHz ～ 2.5 GHz</td></tr>
<tr><td>放射無線周波電磁界

IEC 61000-4-3</td><td>3 V/m

80 MHz ～ 2.5 GHz</td><td>3 V/m</td><td>P は、無線通信機器のメーカーが公表した最大出力定格（単位はワット（W））で、d は推奨距離（単位はメートル（m））です。

電磁環境の現地調査によって得られる固定の無線送信機からの電磁界強度[a] は、各周波数範囲[b] において適合レベル未満である必要があります。

下記の記号が表示された機器の近くでは、妨害が生じる可能性があります。</td></tr>
<tr><td colspan="4">備考 1:　80 MHz 及び 800 MHz においては、高い方の周波数範囲を適用します。

備考 2:　これらのガイドラインでは、対応できない場合もあります。
電磁波伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。</td></tr>
<tr><td colspan="4">[a] 無線（携帯 / コードレス）電話及び陸上移動無線のための基地局、アマチュア無線、AM 及び FM ラジオ放送並びに TV 放送のような固定の送信機からの電磁界強度は、理論上、正確に予測することはできません。固定の無線送信機による電磁環境を評価する為には、電磁波の現地調査の検討が必要です。UP-D25MD が使用される場所で測定された電磁界強度が、対応する無線の適合レベルを超える場合、UP-D25MD が、正常に動作していることを確認してください。
もし異常な動作が観測される場合、UP-D25MD の向きや場所を変えるといった追加措置が必要となることがあります。

[b] 周波数範囲が 150 kHz ～ 80 MHz において、電界強度は 3 V/m 未満である必要があります。</td></tr>
</table>

携帯型及び移動型の無線通信機器と、UP-D25MD との間の推奨分離距離			
UP-D25MD は、無線妨害放射が制御されている電磁環境内で使用することを前提としています。UP-D25MD のお客様または使用者は、携帯型及び移動型無線通信機器（送信機）と UP-D25MD との間の分離距離を保つことによって、電磁妨害を防ぐことができます。推奨の分離距離は、送信機器の最大出力によって、下記の通りです。			
送信機の最大定格出力 W	送信機の周波数による分離距離 m		
	150 kHz ～ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ～ 800 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800 MHz ～ 2.5 GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23
最大定格出力が上記にリストされていない送信機器については、送信機器のメーカーが公表する最大出力定格を P（単位：ワット（W））として、周波数に対応する式を使用して推奨分離距離 d（単位：メートル（m））を計算できます。 備考 1: 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い方の周波数範囲に対する分離距離を適用します。 備考 2: これらのガイドラインでは対応できない場合もあります。 電磁波伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。			

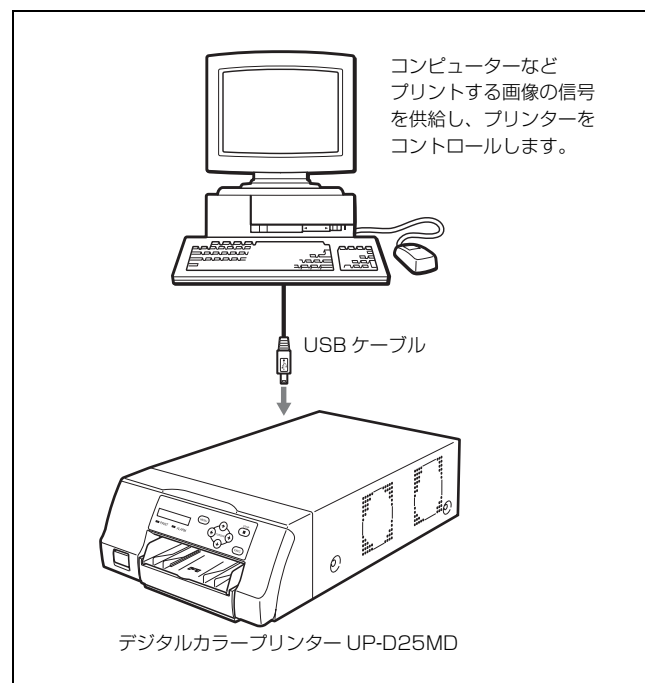
注意

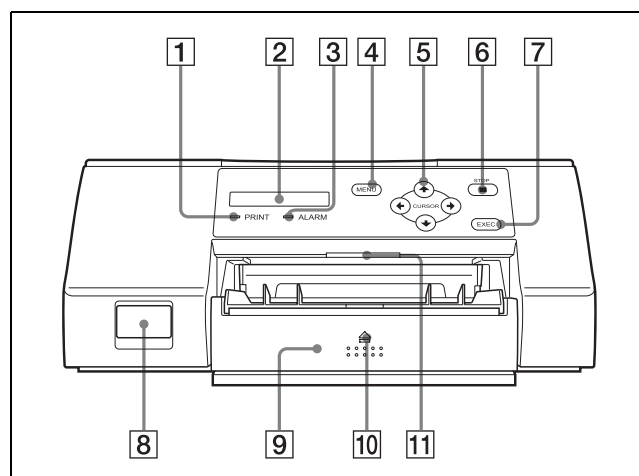
本製品または別売り品を廃棄するときは、関連した地域または国の法律、および関連した病院の規則にしたがって実施されなければなりません。

本機の特長

デジタルカラープリンター UP-D25MD は、コンピューターなどから送られてくる画像データを A6 版のプリント紙にフルカラー（各色 256 階調、1,670 万色）、高解像度（423 dpi 精密ヘッド使用）で高速にプリントするための昇華熱転写型デジタルカラープリンターです。

取扱説明書参照
本機にこのマークがある箇所は、本取扱説明書の指示に従ってご使用ください。

主な使用例

各部の名称と働き

前面

1 **PRINT ランプ**
プリント中に点灯します。

2 **液晶ディスプレイ**
プリンターの状態やエラーメッセージ、メニューを表示します。

3 **ALARM ランプ**
紙詰まりなどエラー発生時に点灯します。

4 **MENU ボタン**
メニュー画面を表示するときや、メニュー画面から通常画面に戻るときに押します。

5 **カーソル移動ボタン（←、→、↑、↓ ボタン）**
メニューの項目を選択したり、設定値を変更するときに使用します。

6 **■ STOP ボタン**
連続プリントを中止するときに押します。現在プリント中のものが終了した時点でプリントが終了します。

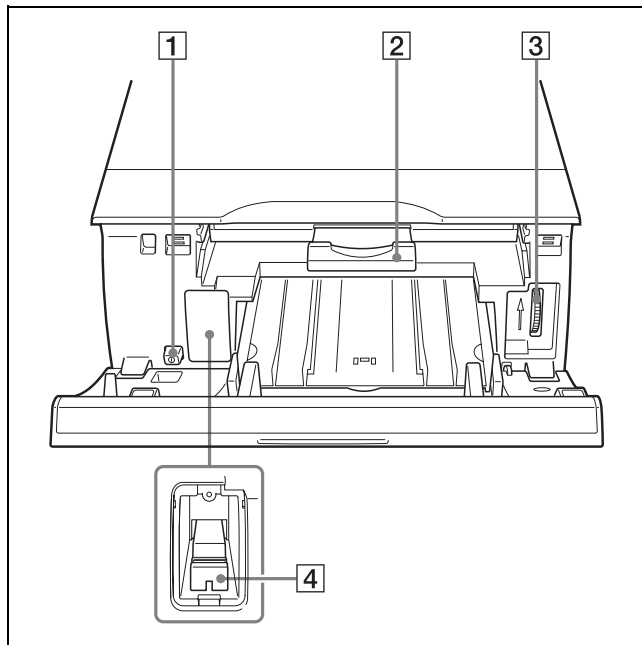
7 **EXEC ボタン**
メニュー内の設定値を確定するときに使用します。

8 **① POWER スイッチ**
本機の電源をオンまたはオフ（入／切）にします。

9 **給紙トレイ（17 ページ）**
プリント紙を入れておくトレイです。トレイ上には、排紙されたプリント画がたまります。

10 ⏏（イジェクト）マーク
給紙トレイを取り出すときに押します。

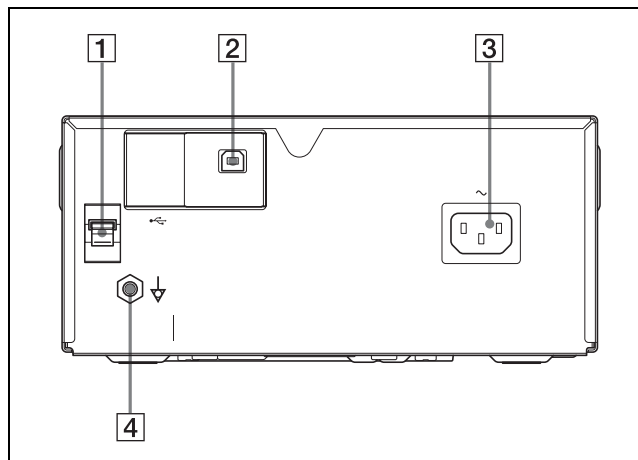
11 トレイライト
排紙口を照らします。(設定変更が可能です。)（20ページ）

リボンドアパネルを開けたとき

1 ⏻ POWER スイッチ
本機の電源をオンまたはオフ（入／切）にします。このスイッチにより、リボンドアパネルを開けた状態でも電源のオン／オフが可能です。

2 リボントレイ（15 ページ）
インクリボンをセットするトレイです。

3 ダイヤル（31 ページ）
プリント紙が内部に詰まったときに、手動でプリント紙を取り除きます。

4 メディア切換レバー
使用するリボンの種類に合わせてレバーの位置を切り換えます。

裏面

1 USB ケーブルクランプ（14 ページ）
接続したケーブルが抜けないように固定します。

2 USB 端子
Hi-Speed USB（USB 2.0 準拠）に対応した USB インターフェースを備えたコンピューターとの接続に使用します。

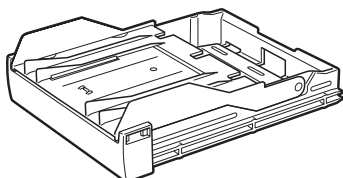
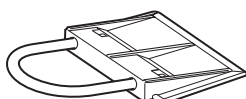
ご注意

接続には付属の USB ケーブルを使用してください。

3 ～AC IN（電源入力）端子（13 ページ）
電源コード（付属）をつなぎます。

4 等電位端子
本機に接続したすべての機器の電位が等しくなります。

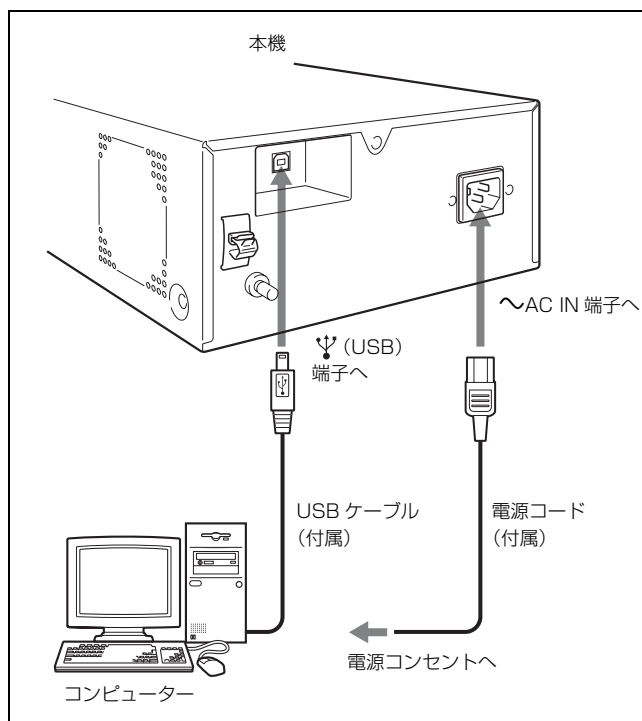
付属品を確認する

付属品を確認してください。

ご注意

- 梱包箱や緩衝材は、プリンターの移動や輸送の際に必要です。捨てずに保管することをお勧めします。
- 輸送の際は、プリンターからインクリボンと給紙トレイを取りはずし、プリンター内部の感熱ヘッドを固定してください。詳しくは「輸送するときは」（24 ページ）をご覧ください。

コンピューターと接続する

USB ケーブル（付属）でプリンターとコンピューターを接続し、電源コードも接続します。接続機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

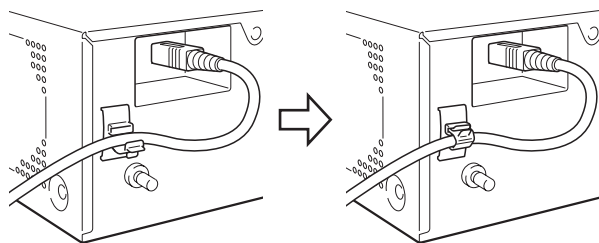
接続する

電源について

コンセントが 2 芯の場合は、コンセント側の電源プラグに付属の 3 極→ 2 極変換プラグを装着してください。このとき、変換プラグに付いている緑色のアース線を必ず建物のアース端子に接続してください。

3 極 → 2 極変換プラグをご使用になる場合のご注意

アースの接続は､必ず電源プラグをコンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続をはずす場合は､必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

USB ケーブルを固定するには

誤ってケーブルを引っ張っても抜けないように、USB ケーブル接続後、ケーブルクランプに通して固定することをお勧めいたします。

ご注意

・ コンピューターの説明書も併せてご覧ください。
・ USB ケーブルのコネクターは最後までしっかり差し込んでください。
・ 付属のプリンタードライバーは、ネットワーク経由での使用には対応しておりません。
・ ハブを使用した USB 接続をする場合は、動作を保証いたしません。

コンピューターにプリンタードライバーをインストールする

お使いのコンピューターが Windows 2000/Windows XP/Windows Vista の場合

プリンターとコンピューターを接続した後、プリンターの電源を入れます。インストールのしかたについては、付属の CD-ROM に格納されているインストールガイド、および Readme ファイルをお読みください。

お使いのコンピューターが Windows 7 の場合

プリンターとコンピューターを接続する前に、付属のプリンタードライバーをコンピューターにインストールする必要があります。インストールのしかたについては、付属の CD-ROM に格納されているインストールガイド、および Readme ファイルをお読みください。

ご注意

プリンターの電源が入っているときは、プリンターに接続しているコンピューターをスタンバイ（サスペンド）状態や休止状態にしないでください。プリンターが正しく動作しなくなることがあります。

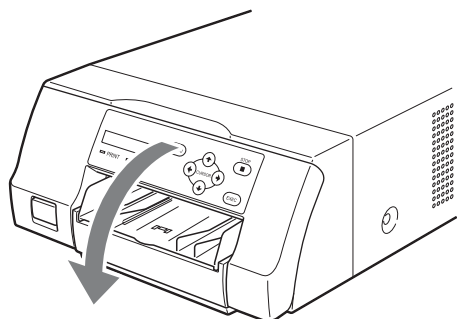
プリントする前に

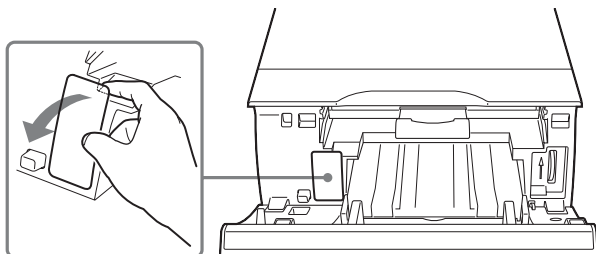
ここでは、プリンターの接続（13ページ）が終了した後、実際のプリントを始める前の準備として、インクリボンおよびプリント紙の取り付けかたを説明します。

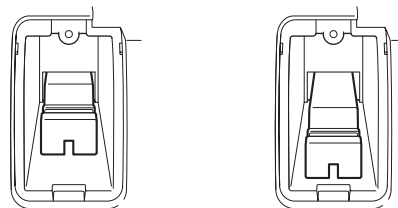
インクリボンを取り付ける

ご注意

初めてお使いになる場合、ヘッドが輸送ポジションに設定されている場合があります。初めに電源を入れ輸送ポジションを解除してからリボントレイを引き出してください。また、液晶ディスプレイに「WAIT」と表示されているときは、リボンドアパネルを開けないでください。

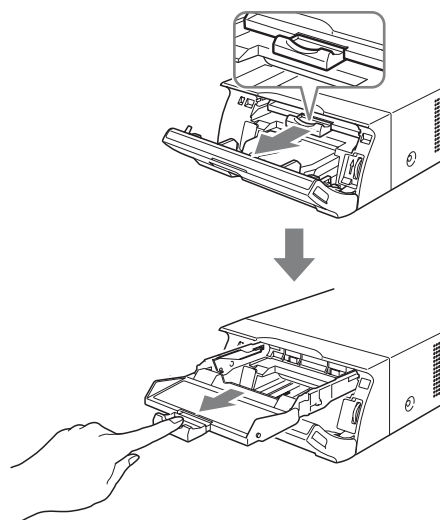
1 リボンドアパネルを開ける。

2 インクリボンの種類に合わせてメディア切換レバーの位置を切り換える。
初めて本機を使用するときや、使用するインクリボンの種類を変えたときは、次の手順でメディア切換レバーの位置を変更してください。

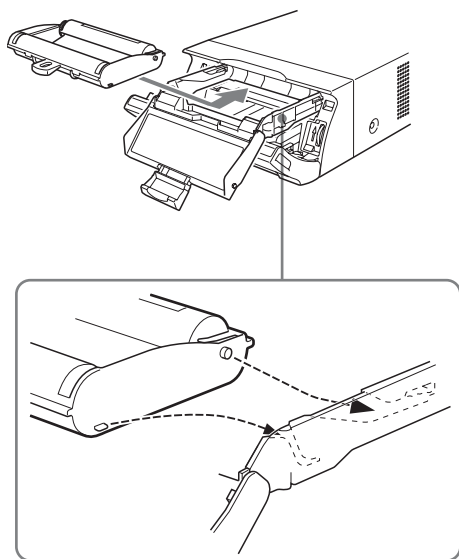
① カバーをはずす。

② メディア切換レバーの位置を切り換える。

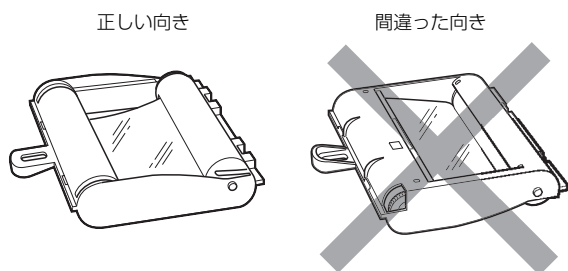
UPC-21S/UPC-21L：奥　UPC-24SA/UPC-24LA：手前

③ カバーを元どおり取り付ける。

ご注意

メディア切換レバーの位置が正常ではない場合、画質に影響を及ぼすことがあります。一番手前または一番奥になっていることを確認してください。

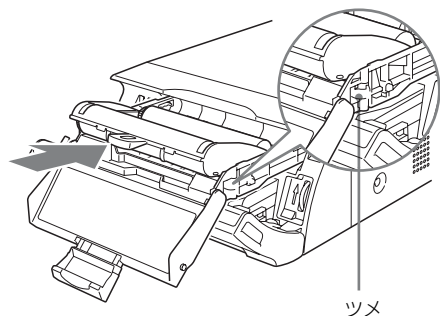
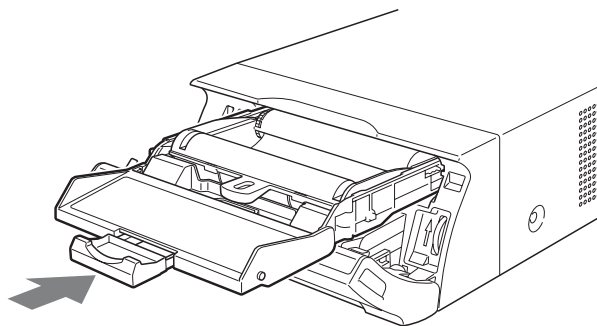
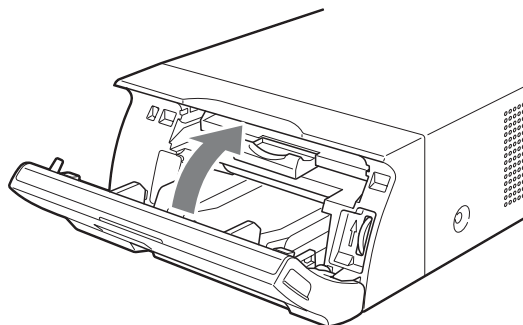
3 リボントレイをまっすぐ引き出す。

4 インクリボンをセットする。

① インクリボンの側面の突起（左右それぞれ 2 か所）をリボントレイの溝に合わせます。

ご注意

・インクリボンは、表と裏を間違えないよう、正しい向きでセットしてください。

・インクリボンを装着する前に、手でリボンを巻き取らないでください。画質に影響する場合があります。

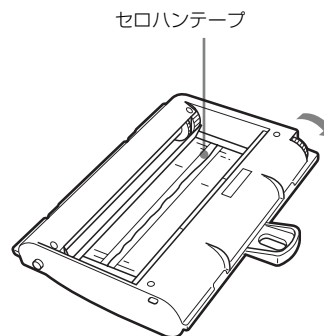
② インクリボンをリボントレイの奥までまっすぐに挿入します。

ご注意

リボントレイ側面の白いツメに触れないでください。インクリボンが正しく装着できない場合があります。

5 リボントレイを奥までまっすぐに挿入する。

6 リボンドアパネルを閉じる。

リボントレイを取り出すときは

インクリボンの交換時などにリボントレイを取り出すときは、手前にまっすぐ引いて抜いてください。

インクリボンが途中で切れてしまったときは

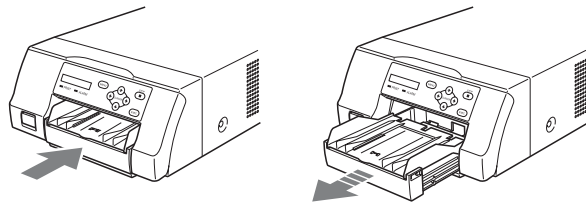
透明なセロハンテープなどでつなげば、残りのインクリボンを使うことができます。

セロハンテープが見えなくなるまで巻き取り側のグレーのギアを矢印の方向に回してインクリボンを巻き取る（インクリボンがたるまないようにしてください）。

プリント紙を入れる

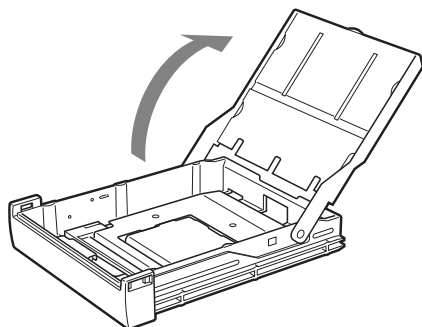
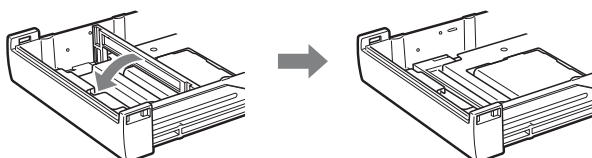
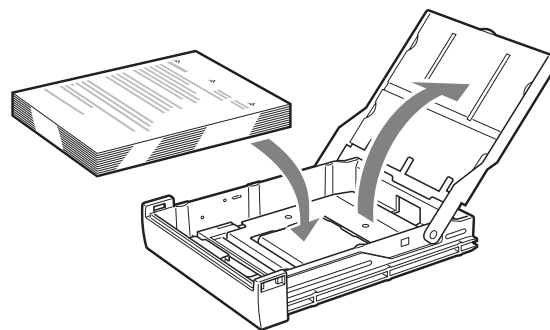
次の手順で、給紙トレイにプリント紙を入れ、プリンター本体に取り付けてください。
初めてお使いになる場合は、手順2から始めてください。

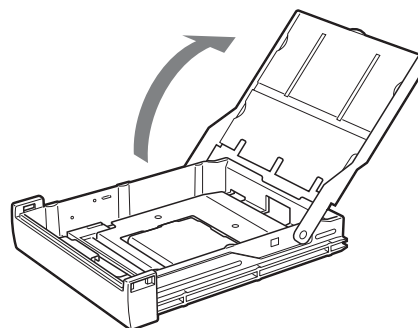
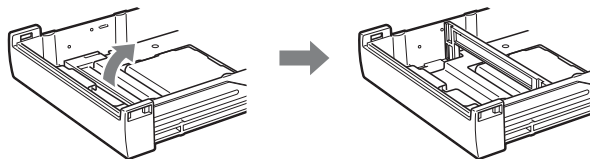
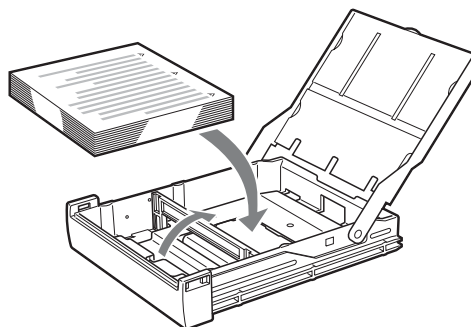
ご注意

- プリント面には手を触れないように注意してください。
- プリント紙は本機で推奨しているものをお使いください。それ以外のものをお使いになると、紙詰まりなど、故障の原因になりますのでご注意ください。インクリボンとプリント紙について詳しくは「使えるインクリボンとプリント紙」（26ページ）をご覧ください。
- 液晶ディスプレイに「CHANGE RBN」というメッセージが表示された場合は、インクリボンがなくなった状態です。この場合は、新しいリボンに交換し、新しいプリント紙を入れてください。
- 給紙トレイを着脱するときは、プリンターが動いて落下する可能性がありますので、ご注意ください。

1 給紙トレイの ⏏ マークの部分を押して、給紙トレイを取り出す。

2 給紙トレイのふたを開け、プリント面を上にして保護シートと一緒にプリント紙を入れる。

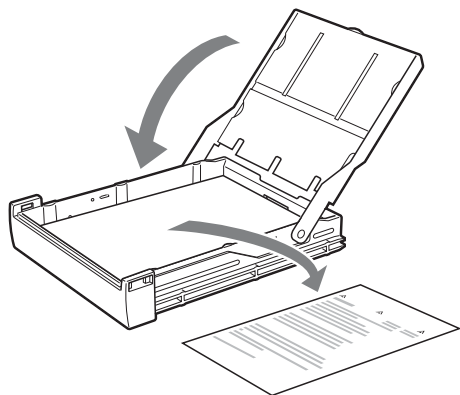
プリントパック UPC-21L/UPC-24LA をお使いの場合：

① 給紙トレイのふたを開ける。

② 給紙トレイの仕切りを立てているときは、倒す。

③ 保護シートの ▲ マークを給紙トレイ内部の △ マークと同じ向きにして、プリント紙をきれいに揃えて給紙トレイに入れる。

プリントパック UPC-21S/UPC-24SA をお使いの場合

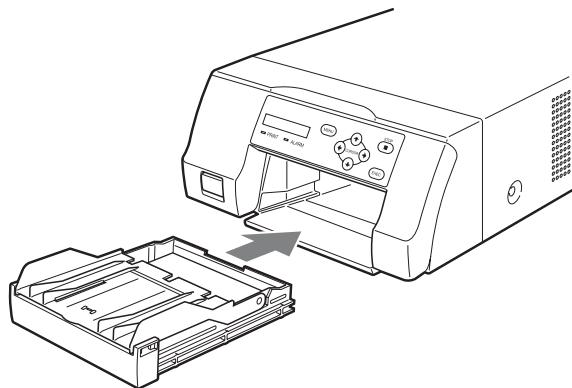
① 給紙トレイのふたを開ける。

② 給紙トレイの仕切りが倒れているときは、立てる。

③ 保護シートの ▲ マークを給紙トレイ内部の △ マークと同じ向きにして、プリント紙をきれいに揃えて給紙トレイに入れる。

ご注意

- プリント紙のみを追加しないでください。プリント紙がなくなったら、プリント紙と一緒にインクリボンも交換してください。途中でプリント紙を補給すると紙詰まりの原因となります。

・プリント紙を取り扱うときはプリント面に触れないでください。手あかやほこりが付着するとプリント面が汚れることがあります。プリント面が汚れないように、保護シート（注意文が印刷されています）を付けたまま取り扱ってください。
・給紙トレイにプリント紙が完全に収まるように正しく入れてください。反りのあるプリント紙を使うと、給紙トレイからプリント紙がはみ出して正常に給紙できないことがあります。必ず、保護シートごとさばいて反りをなくしてから使ってください。
・異なる種類のプリント紙を混在させて給紙トレイに入れないでください。

3 保護シートを取り除き、ふたを閉める。

ご注意

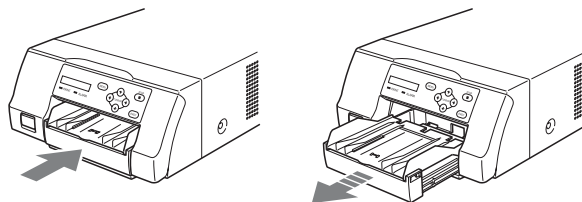
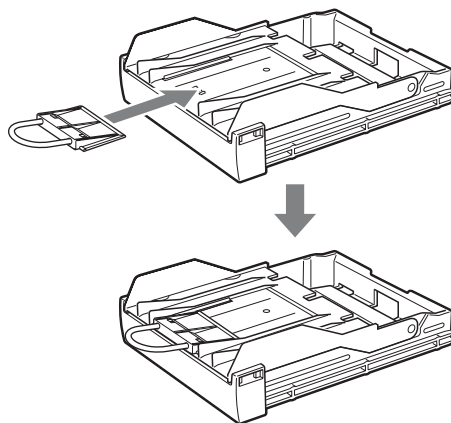
保護シートは捨てないで保管しておいてください。保護シートの裏面（印刷されていない面）を、クリーニングシートとして感熱ヘッドのクリーニングに使用します。クリーニングについて詳しくは「感熱ヘッドと内部ローラーのクリーニング」（25 ページ）をご覧ください。

4 給紙トレイをカチッと音がするまでプリンターに差し込む。

ご注意

・給紙トレイを奥まで差し込むことができない場合は、給紙トレイ挿入部にプリント紙があるか確認してください。あった場合は取り除いてください。
・排出されたプリント紙を 10 枚より多くためないでください。紙詰まりの原因となります。

ストッパーの取り付け方法

プリント紙を複数枚排出していると、たまったプリント紙が給紙トレイから飛び出すことがあります。この場合はストッパーを給紙トレイに取り付けてください。

1 給紙トレイの ⏏ マークの部分を押して、給紙トレイを取りはずす。

2 ストッパーを、給紙トレイのふたの溝（2 か所）にはめ込み、まっすぐ奥まで挿入する。

ご注意

ストッパーの金属部分は引っ張らないでください。

メニューで行う調整と設定

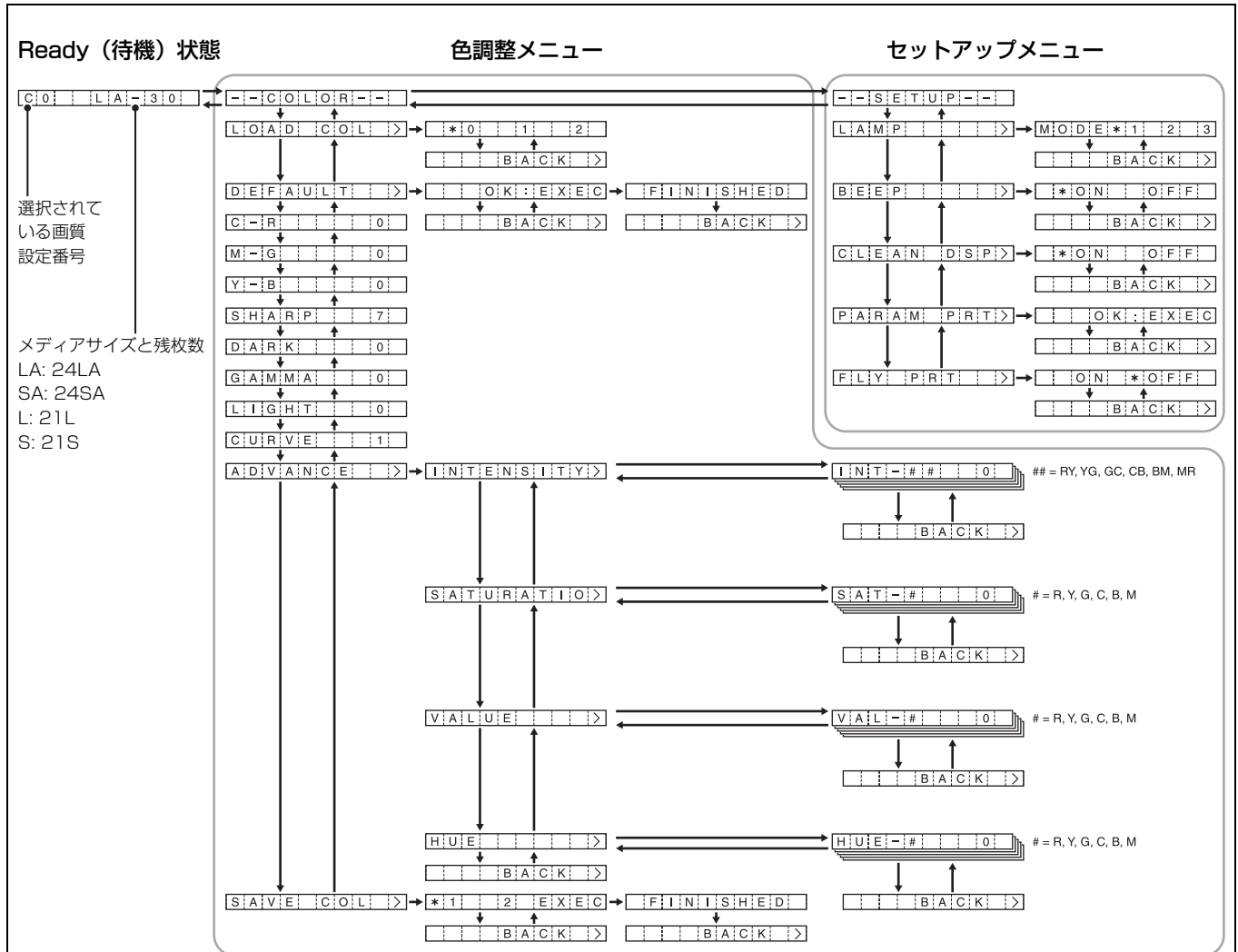
メニューを使って、プリント画質の調整や、使用状況に合わせたプリンターの設定ができます。設定した内容は、プリンターの電源を切っても保持されます。また、画質調整の設定内容は、ユーザー設定として2つまで登録できます。

メニュー構成

液晶ディスプレイの表示が待機状態のときにMENUボタンを押すと、メニューが表示されます。

メニューの表示中は、カーソル移動ボタン（⬅、➡、⬆、⬇）で各種設定を行うことができます。

メニューの表示中にMENUボタンを押すと、待機状態に戻ります。

メニューの構成は下記のようになります。

各メニューでのキー操作

- ⬅、➡でメニューを切り替え、⬆、⬇で各メニューの設定項目を切り替えます。メニューの先頭（末尾）で⬆（⬇）を押すと末尾（先頭）に移動します。
- メニューの右端に「>」が表示されているときは、➡を押すとメニューの下位項目に移動します。ただし、「BACK >」と表示されているときは、➡を押すと上位項目に移動します。
- 設定値が表示されているときは、⬅、➡で値を変更します。

メニュー一覧

メニュー項目の設定内容を一覧表で説明します。
一覧表の中で**太字**で記述されている設定値が初期設定値です。

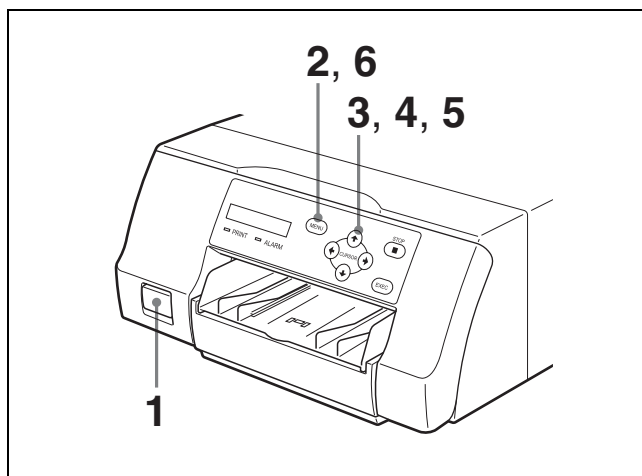
画質調整（COLOR）メニュー

項目	内容	設定
LOAD COL	登録されている画質設定を呼び出します。	**0** プリンタードライバーで設定されている設定値（表示のみ。プリントにはプリンタードライバーの設定値が適用されます。） 1「SAVE」で保存した番号1の設定（プリンタードライバーで設定された色調整は無効となり、プリンターに保存された色設定でプリントされます。） 2「SAVE」で保存した番号2の設定
DEFAULT	画質設定1と2の画質設定値を初期状態に戻します。	EXECボタンを押して確定します。
C-R (Cyan - Red)	数値を増やすと赤味のかかったプリントにします。 数値を減らすとシアン（水色）がかったプリントにします。	–32から32までの65段階で調整できます。数値0が標準です。 調整範囲：–32 〜 **0** 〜 32
M-G (Magenta - Green)	数値を増やすと緑のかかったプリントにします。 数値を減らすとマゼンタ（ピンク）がかったプリントにします。	–32から32までの65段階で調整できます。数値0が標準です。 調整範囲：–32 〜 **0** 〜 32
Y-B (Yellow - Blue)	数値を増やすと青味のかかったプリントにします。 数値を減らすと黄色味がかったプリントにします。	–32から32までの65段階で調整できます。数値0が標準です。 調整範囲：–32 〜 **0** 〜 32
SHARP (Sharpness)	画像の輪郭を調整します。設定値を大きくするほど画像の輪郭が強調されます。	15段階で調整できます。数値7が標準です。 調整範囲：0 〜 **7** 〜 14
DARK	暗い部分の階調を調整します。	± 32段階で調整できます。数値0が標準です。 調整範囲：–32 〜 **0** 〜 32
GAMMA	中間色の階調を調整します。	± 32段階で調整できます。数値0が標準です。 調整範囲：–32 〜 **0** 〜 32
LIGHT	明るい部分の階調を調整します。	± 32段階で調整できます。数値0が標準です。 調整範囲：–32 〜 **0** 〜 32
CURVE	トーンカーブを切り換えます。	**1** 標準 2 硬調 3 軟調
ADVANCE	詳細な色設定を行います。	
INTENSITY	各色の色変化具合を調整します。	± 32段階で調整できます。数値0が標準です。 調整範囲：–32 〜 **0** 〜 32 R-Y: 赤から黄色の間の色 Y-G: 黄色から緑の間の色 G-C: 緑からシアン（水色）の間の色 C-B: シアン（水色）から青の間の色 B-M: 青からマゼンタ（ピンク）の間の色 M-R: マゼンタ（ピンク）から赤の間の色
SATURATIO (Saturation)	各色の彩度を調整します。	± 32段階で調整できます。数値0が標準です。 調整範囲：–32 〜 **0** 〜 32
VALUE	各色の明度を調整します。	± 32段階で調整できます。数値0が標準です。 調整範囲：–32 〜 **0** 〜 32
HUE	各色の色相を調整します。	± 32段階で調整できます。数値0が標準です。 調整範囲：–32 〜 **0** 〜 32
SAVE COL	画質調整メニューでの設定内容を登録します。異なる設定内容を2つ登録できます。	**1** ユーザー設定1として登録します。 2 ユーザー設定2として登録します。 設定0はプリンタードライバーの設定値となるため、設定内容の登録はできません。

セットアップ（SET UP）メニュー

項目	内容	設定
LAMP	排紙口付近のランプの動作を設定します。	**MODE 1** 待機（消灯）→ 画像受信時（点滅）→ 印画時（消灯）→ 排紙時（点灯）→ 排紙後しばらくして（消灯） MODE 2 常時点灯 MODE 3 常時消灯
BEEP	プリンター本体のキー操作音とエラー発生時のアラーム音をオンまたはオフにします。	**ON** プリンター本体から音がします。 OFF プリンター本体から音がしません。

項目	内容	設定	
CLEAN DISP	クリーニングメッセージ表示機能の設定をします。	**ON**	クリーニング推奨時に液晶ディスプレイにメッセージを表示します。
		OFF	クリーニング推奨時でもメッセージ表示をしません。
PARAM PRT	プリンターの設定値の一覧をプリントします。	EXEC ボタンを押してプリントを実行します。(22 ページ)	
FLY PRT	印刷動作に入るタイミングを設定します。	ON	コンピューターから画像データを受信すると同時に給紙動作に入ります。
		OFF	コンピューターからの画像データの受信が完了してから給紙動作に入ります。

メニューの操作方法

1 ⓘ POWER スイッチを押してプリンターの電源を入れる。
液晶ディスプレイのバックライトが緑色に点灯し、PRINT ランプ、ALARM ランプ、トレイライトが同時に点灯してから消灯します。

2 液晶ディスプレイの表示が待機状態(たとえば「C0 LA-30」など)になっていることを確認してから、MENU ボタンを押す。

3 ←、→ ボタンを押してメニュー(「COLOR」または「SET UP」)を選択する。

4 ↑、↓ ボタンを押して設定項目を選択する。

5 ←、→ ボタンを押して設定値を選択する。

6 設定が終わったら、MENU ボタンを押す。
液晶ディスプレイの表示が待機状態に戻ります。

色の調整値の設定を保存する

画質調整メニューで設定した内容を登録し、必要なときに呼び出して使用できます。異なる設定内容を 2 つまで登録できます。

設定内容を登録するには

1 MENU ボタンを押す。

2 ←、→ ボタンを押して「COLOR」を選択する。

3 ↑、↓ ボタンを押して画質調整メニューの各設定項目(C-R、M-G、Y-B、SHARP、DARK、GAMMA、LIGHT、CURVE、ADVANCE)を選択し、それぞれ設定を変更する。

4 設定が終わったら、↑、↓ ボタンを押して「SAVE COL」を選択する。

5 ←、→ ボタンを押して、設定内容を登録する番号(1 または 2)を選択する。
←、→ ボタンを押すと、液晶ディスプレイ上の「*」の位置が変わります。番号の左隣りに「*」を移動することで、その番号を選択できます。設定内容ごとに違う番号を選択することで、2 つまで設定内容を登録できます。
設定項目の設定値の詳細はメニューの「COLOR」設定内で確認するか、設定値をプリントすることで確認ができます。(22 ページ)

6 EXEC ボタンを押して設定内容の登録を確定する。

7 MENU ボタンを押して待機画面に戻る。

設定内容を呼び出すには

1 MENU ボタンを押す。

2 ←、→ ボタンを押して「COLOR」を選択する。

3 ↑、↓ ボタンを押して「LOAD COL」を選択する。

4 ←、→ ボタンを押して、設定番号を選択する。

番号	説明
0	プリンタードライバーの色設定値がプリントに適用されます。
1 または 2	それぞれの設定番号で登録された画質調整のユーザー設定をプリンター内部の設定値に読み替えてプリントします。

5 MENU ボタンを押して待機画面に戻る。

設定値の一覧をプリントする

プリンターの現在の設定値の一覧を、下記の手順でプリントできます。

1 MENU ボタンを押す。

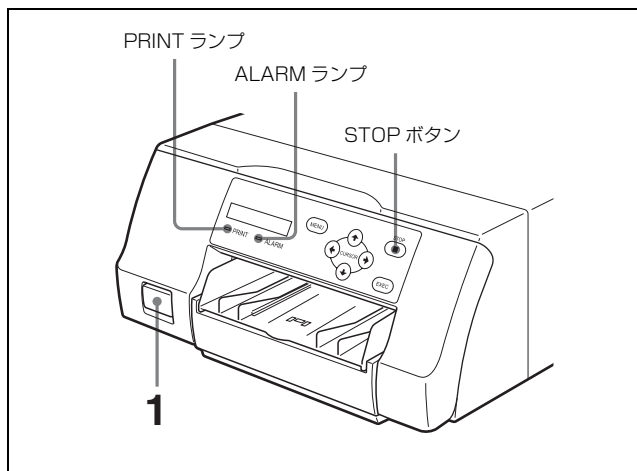
2 ←、→ ボタンを押して「SET UP」を選択する。

3 ↑、↓ ボタンを押して「PARAM PRT」を選択する。

4 → ボタンを押してから、EXEC ボタンを押す
プリンターの設定値の一覧がプリントされます。

プリントする

プリントを始める前に

・プリンターとコンピューターなどの接続は済んでいますか。（13 ページ）
・インクリボンとプリント紙は正しく取り付けられていますか。（15 ページ）
・プリンタードライバーはインストールされていますか。（14 ページ）

1 ⏻ POWER スイッチを押してプリンターの電源を入れる。
液晶ディスプレイのバックライトが緑色に点灯し、PRINT ランプ、ALARM ランプ、トレイライトが同時に点灯してから消灯します。

2 コンピューターの電源を入れる。

3 コンピューターからプリント操作を行う。
コンピューターから画像データ受信中は、PRINT ランプが点滅します。
プリント中は、PRINT ランプが点灯します。

ご注意

・プリント中のプリント紙が見えますが、途中でプリント紙を引き出したりしないでください。
・プリントの途中で電源を切らないでください。紙詰まりの原因になります。
・プリントの途中でリボンドアパネルを開けないでください。開けるとプリントが中止されます。リボンドアパネルを閉じると、プリントの途中のプリント紙を排出し、プリンターは待機状態になります。
・液晶ディスプレイに「WAIT」と表示されているときは、リボンドアパネルを開けないでください。プリンターの内部処理中です。

・連続プリントが設定できるようになっていますが、プリント紙の反りの状態によっては、プリントが止まり、ALARMランプが点灯します。そのような場合は、排紙口にたまったプリント紙を取り除いてください。自動的にプリント動作が再開され、残りのプリントが処理されます。
・排出されたプリント紙を10枚より多くためないでください。紙詰まりの原因となります。

プリントできないとき

リボンドアパネルを開いているときやALARMランプが点灯しているときはプリントできません。
詳しくは、「本体ランプ表示について」（29ページ）をご覧ください。

プリント中にプリント紙またはインクリボンがなくなったとき

プリンターはプリント動作を終了します。新しいプリント紙およびインクリボンをセットすると自動的にプリント動作が再開され、残りのプリントが処理されます。

連続プリントを中止するには

STOPボタンを押します。現在プリント中のものが終了し、排出されるとプリンターは待機状態になります。

プリント画を保存するときは

・直射日光の当たるところや、温度や湿度の高いところに置かないでください。退色する場合があります。
・プリント画に粘着テープを貼ったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなど可塑剤を含むものに触れさせないでください。
・プリント画にアルコールなどの揮発性有機溶剤をこぼさないようにしてください。

本機の性能を保持するために

本機の性能を保持するために、「安全のために」（2 ページ）、「⚠警告」（4 ページ）、「⚠注意」（5 ページ）と併せてご覧ください。

使用上のご注意

液晶ディスプレイに「CLEAN」と表示された場合

印画枚数が 1,000 枚に達すると、「CLEAN」というメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。この場合は感熱ヘッドと内部ローラーをクリーニングしてください。クリーニングについて詳しくは「感熱ヘッドと内部ローラーのクリーニング」（25 ページ）をご覧ください。
「CLEAN」が表示された後、プリンター前面のいずれかのボタンが押されると表示はいったん消えます。
クリーニングされない場合、電源再投入時に再度メッセージが表示されます。
また、「CLEAN」メッセージの表示設定については、セットアップメニューの操作でオンまたはオフにすることが可能です。（20 ページ））

設置するときのご注意

次のような場所に設置または保管しないでください。

- 直射日光のあたるところ
- 湿気の多いところ
- 極端に暑いところや寒いところ
- 振動の多いところ
- ほこりの多いところ
- 不安定なところ
- 本体の側面にある通風孔をふさがないでください。火災や故障の原因となる場合があります。
- 危険防止のため、本体の上にモニターなど、物を置かないでください。

輸送するときは

プリンターを輸送する際は、次の手順で付属品を外し、ご購入時の梱包箱で梱包してください。付属品が取り付けられたまま輸送すると、故障の原因になることがあります。

1 インクリボンと給紙トレイを外す。

2 内部の感熱ヘッドを固定する。

① ⏻ POWER スイッチを押してプリンターの電源を入れる。

② カーソル移動キーの ⬅ と ➡、および MENU ボタンを同時に押す。
プリンターの動作音が約 2 秒続きます。液晶ディスプレイには「WAIT」というメッセージが表示されます。

③ プリンターの動作音が止まり、液晶ディスプレイに「TRANS MODE」と表示されたら、⏻ POWER スイッチを押してプリンターの電源を切る。
感熱ヘッドが固定されます。

感熱ヘッドの固定を外すには

再度電源を入れます。感熱ヘッドが移動し、インクリボンを取り付けることができるようになります。

長い間ご使用にならないときは

- ⏻ POWER スイッチを押してプリンターの電源を切り、電源コードを抜いてください。
- 使用途中のプリント紙とインクリボンは本体から外して、製品の入っていた袋に戻して密封し、なるべく冷暗所にて保存してください。再度使用する場合には、水滴が付かないように、部屋の温度になじませてから開封して、使用してください。

結露について

- 温度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。
- 冬の寒い部屋から急に暖かい部屋にプリントパックを持ち込むと、インクリボンやプリント紙に水滴がつくことがあります。そのまま使用すると、プリンターの故障の原因になる場合があります。また、一度水滴が付いたプリントパックを使用すると、プリント画にシミなどが現れることがありますので、急激な温度変化は避けてご使用ください。

お手入れ

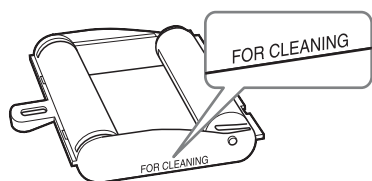
ご注意

お手入れの際は、必ず電源を切って電源コードを抜いてください。

キャビネットが汚れたら

キャビネットの汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。このあと乾いた布でからぶきしてください。
シンナーやベンジン、無水アルコール、化学ぞうきんなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

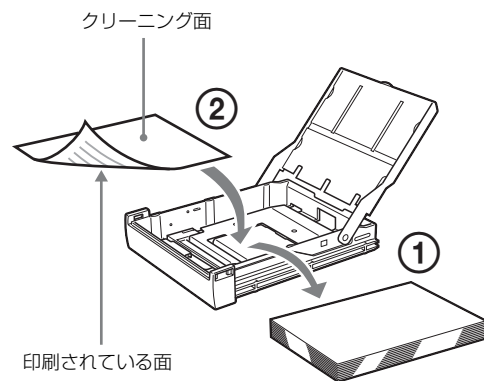
感熱ヘッドと内部ローラーのクリーニング

プリント画に白いスジが発生したり、プリント紙が詰まるなどの印画不良が生じるときは、付属の感熱ヘッドクリーニングカートリッジを使って感熱ヘッドと内部ローラーをクリーニングしてください。

また、プリント画の品質を維持するために、プリント紙 10 パック程度を目安に定期的にクリーニングすることをお勧めします。
感熱ヘッドと内部ローラーのクリーニングには、プリントパック UPC-21S/UPC-21L/UPC-24SA/UPC-24LA に付属の保護シートを裏返しにして、クリーニングシートとして使用します。

1 給紙トレイを押して取り出す。
給紙トレイからプリント紙をすべて取り除いてください。プリント紙が給紙トレイ挿入部に残っている場合は、プリント紙を取り除いてください。①

2 「プリント紙を入れる」（17 ページ）の手順 3 で取り除いた保護シート（クリーニングシート）を、裏面（印刷されていない面）を上にして給紙トレイに入れる。
②

ご注意

一度クリーニングシートとして使用した保護シートを再使用しないでください。

3 給紙トレイをプリンターに取り付ける。

4 感熱ヘッドクリーニングカートリッジをプリンターに取り付ける。
インクリボンが取り付けられているときは、外してから、感熱ヘッドクリーニングカートリッジを取り付けてください。
取り付けかたはインクリボンと同じです。詳しくは「インクリボンを取り付ける」（15 ページ）をご覧ください。
感熱ヘッドクリーニングカートリッジを取り付けてリボンドアパネルを閉じると、液晶ディスプレイに「CLEAN EXEC」というメッセージが表示されます。

5 EXEC ボタンを押す。
感熱ヘッドのクリーニングが開始します。
クリーニング中は、液晶ディスプレイに「CLEANING」というメッセージが表示されます。
液晶ディスプレイに「FINISHED」というメッセージが表示されたら、クリーニングは終了です。
クリーニングの終了時に、保護シート（クリーニングシート）が排出されます。クリーニングシートとして使用した保護シートの再利用はできませんので、捨ててください。

ご注意

クリーニング動作中は、プリンターの電源を切らないでください。

6 感熱ヘッドクリーニングカートリッジを取り出す。
感熱ヘッドクリーニングカートリッジは、以後のクリーニング時にも使用しますので、捨てずに保管してください。

使えるインクリボンとプリント紙

再使用禁止

動作不良の原因となり、印刷結果に悪影響を与えます。

カラープリントパック UPC-21S

240 枚分の高速 / 高感度用のカラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

80 枚分のプリント用インクリボン× 3 巻
80 枚分のプリント紙（90 × 100 mm）× 3 袋

カラープリントパック UPC-21L

200 枚分の高速 / 高感度用のカラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

50 枚分のプリント用インクリボン× 4 巻
50 枚分のプリント紙（100 × 144 mm）× 4 袋

ラミネートカラープリントパック UPC-24SA

180 枚分のラミネート用のカラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

60 枚分のプリント用インクリボン× 3 巻
60 枚分のプリント紙（90 × 100 mm）× 3 袋

ラミネートカラープリントパック UPC-24LA

160 枚分のラミネート用のカラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

40 枚分のプリント用インクリボン× 4 巻
40 枚分のプリント紙（100 × 144 mm）× 4 袋

カラープリントパック（UPC-21S/UPC-21L）およびラミネートカラープリントパック（UPC-24SA/UPC-24LA）について

ご注意

- プリント紙がなくなったら、プリント紙と一緒にインクリボンも交換してください。
- インクリボンとプリント紙は同じ箱に入っているものを必ずセットでお使いください。
- インクリボンの色素は他の色素と同様に年月の経過により変化しますが、その点についての補償、代償はご容赦ください。

プリント紙を保存するときは

- 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- 使用途中のプリント紙とインクリボンは、本体からはずして、製品の入っていた袋に戻して密封し、なるべく冷暗所にて保存してください。再度使用する場合は、水滴が付かないように部屋の温度になじませてから開封して使用してください。

プリント画を保存する場合のご注意

- プリント画は光の当たらない室温以下のところに保存してください。
- プリント画に粘着テープを貼ったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなどの可塑材を含むものに触れさせないでください。
- プリント画にアルコールなどの揮発性有機溶剤をこぼさないように注意してください。

主な仕様

電源　AC100 V 、50/60 Hz
入力電流　1.7 A
動作温度　5 ℃～ 35 ℃
動作湿度　20% ～ 80%（ただし結露がないこと）
動作気圧　700 hPa ～ 1,060 hPa
保管／輸送温度　–20 ℃～+60 ℃
保管／輸送湿度　20% ～ 80%（ただし結露がないこと）
保管／輸送時気圧
　700 hPa ～ 1,060 hPa
最大外形寸法　約 212 × 98 × 398 mm（幅／高さ／奥行き）最大突起部含まず。
質量　約 5.5 kg（本体のみ）
プリント方式　昇華熱転写型、YMC 3 色重ね印画
感熱ヘッド　423 dpi
プリント階調　YMC 各色 8 ビット（256 階調）処理（イエロー、マゼンタ、シアン）
プリント画素数　UPC-21S/UPC-24SA 使用時、フル画面プリント：1,600 × 1,200 ドット
　UPC-21L/UPC-24LA 使用時、フル画面プリント：2,100 × 1,600 ドット
プリント時間　UPC-21S 使用時
　約 19 秒（高速印画時）
　UPC-21L 使用時
　約 29 秒（高速印画時）
　UPC-24SA 使用時
　約 25 秒（高速印画時）
　UPC-24LA 使用時
　約 36 秒（高速印画時）
インターフェース
　Hi-Speed USB（USB 2.0 準拠）
入力端子　AC IN（電源入力用）
付属品　給紙トレイ（1）
　ストッパー（1）
　電源コード（1）
　3 極→ 2 極変換プラグ（1）
　USB ケーブル 1-824-211-41（SONY）（1）
　ご使用になる前に（1）
　ソフトウェア使用契約書（1）
　感熱ヘッドクリーニングカートリッジ（1）
　CD-ROM（プリンタードライバー／取扱説明書ディスク）（1）
　ソニー業務用商品相談窓口のご案内（1）

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。
他の機器には使用できません。

別売り品　カラープリントパック UPC-21S 240 枚分（80 枚× 3）
　カラープリントパック UPC-21L 200 枚分（50 枚× 4）
　ラミネートカラープリントパック UPC-24SA 180 枚分（60 枚× 3）
　ラミネートカラープリントパック UPC-24LA 160 枚分（40 枚× 4）

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

安全に関する仕様
　電撃に対する保護の形式：
　　クラス I
　水の浸入に対する保護等級：
　　0 級 （特に保護がされていない）
　可燃性麻酔剤の点火の危険に対する保護：
　　空気か酸素か亜酸化窒素を含む可燃性麻酔薬混合物があるときは使用に適していません。
　作動モード：
　　連続

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

・お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。本機や付属のソフトウエア、記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により正常に動作しなかった場合のプリント結果や記録データの補償については、ご容赦ください。
・故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

アフターサービス

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店にご相談ください。

その他

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときには、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

症状	原因と対処
コンピューターから画像を転送してもプリントしない	・①POWER スイッチが OFF になっています。 →①POWER スイッチを ON にします。 ・プリンターとコンピューターが正しく接続されていません。 →プリンターがコンピューターに正しく接続されているか確認してください。（13 ページ）
プリントできない	何らかの理由でプリントできない状態です。この場合は、リボンドアパネルの ALARM ランプが点灯し、エラーメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。 →「エラーメッセージ一覧」（29 ページ）をご覧になり、適切な対処をしてください。
プリント画の色が薄い	プリント紙の入れかたが間違っています。 →プリント紙の表・裏を確認し、正しく入れ直してください。（17 ページ）
インクリボンが入らない	・本機で使用できないインクリボンを取り付けようとしています。 →本機専用のインクリボンを取り付けてください。（26 ページ） ・感熱ヘッドが固定されています。 →プリンターの電源を入れてください。感熱ヘッドが移動し、インクリボンが取り付けられるようになります。 ・インクリボンが正しい位置に挿入されていません。 →正しい位置に挿入してください。
プリント紙が給紙されない	・プリント紙の先端が折れています。 →先端の折れたプリント紙を給紙トレイから取り除いてください。 ・正しい向きでプリント紙が給紙トレイに入っていません。 →プリント紙の向きを確認してください。S サイズのプリント紙の場合は、給紙トレイの仕切りを立ててお使いください。 内部ローラーが汚れています。 →内部ローラーをクリーニングしてください。（25 ページ）
印刷されないでプリント紙が排出され、ALARM ランプが点灯し液晶ディスプレイに CHANGE RBN のメッセージが出る	リボンがなくなりました。 →リボンを交換してください。（15 ページ）なお、排出されたプリント紙は使用しないでください。

症状	原因と対処
印画面にキズ、スジが入る	感熱ヘッドが汚れています。 →感熱ヘッドをクリーニングしてください。（25 ページ）

本体ランプ表示について

プリンター本体の各ランプの点灯・点滅の意味は以下のとおりです。

ランプ		液晶ディスプレイの表示	内容
PRINT	ALARM		
点灯 → 消灯	点灯 → 消灯	（起動情報）	起動時
消灯	消灯	（設定情報）	待機時
点滅	消灯	RECEIVING	画像受信中
点滅	消灯	COOLING	ヘッド温度調整中
点滅	消灯	HEATING	ヘッド温度調整中
点灯	消灯	FEED IN	給紙中
点灯	消灯	PRINT-Y/M/C/L	印画中
点灯	消灯	FEED OUT	排紙中

エラーメッセージ一覧

エラーが発生したときは、エラーの内容を示すメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。表示されるエラーメッセージと、そのエラーメッセージが表示されているときの PRINT ランプおよび PRINT ランプの動作、および原因と対処を下記に挙げます。

ランプ		液晶ディスプレイの表示	原因と対処
PRINT	ALARM		
消灯*	点灯	CLOSE DOOR	リボンドアパネルが開いています。 →リボンドアパネルを閉じてください。
消灯*	点灯	SET RIBBON	インクリボンがありません。 →インクリボンをセットしてください。（15 ページ）
消灯*	点灯	SET PAPER	・ プリント紙がありません。 →プリント紙を入れて補給してください。（17 ページ） ・ 給紙トレイが取り付けられていません。 →給紙トレイを取り付けてください。（17 ページ）
消灯*	点灯	RMV PAPER	プリンター内部で紙詰まりが起きました。 →詰まったプリント紙を取り除いてください。 底板が取りはずされています。 →底板を取り付けてください。（31 ページ）

その他

ランプ		液晶ディスプレイの表示	原因と対処
PRINT	ALARM		
消灯*	点灯	RMV PRINTS	給紙トレイにプリント済みのプリント紙がたまりました。 →たまったプリント紙を取り除いてください。プリントが再開されます。
消灯*	点灯	CHANGE RBN	インクリボンがなくなりました。 →新しいインクリボンを取り付けてください（インクリボンの再利用はできません。） 何もプリントされず白いプリント紙が排出された場合、そのプリント紙は使用しないでください。（17ページ）
消灯	点灯	CHK RBN 33/34	インクリボンが切れました。 →セロハンテープなどでつなげてください。（16ページ） インクリボンが切れていないにもかかわらずこのメッセージが表示される場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
消灯	点灯	CHK PAP: RBN	インクリボンとプリント紙の組み合わせが正しくありません。 →同じプリントパックに入っていた組み合わせにしてください。（26ページ）
消灯	点灯	CHK RIBBON	本機で使用できないインクリボンが取り付けられています。 →正しいインクリボンを取り付けてください。
消灯**	点灯	CHK PAP 50 ～ 6F	プリンター内部で紙詰まりが起きました。 →詰まったプリント紙を取り除いてください。
消灯	点灯	TR TEMP 10 ～ 1F	感熱ヘッドの温度が異常です。 →プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。それでもメッセージが消えない場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
消灯	点灯	TR TEMP 20/21	プリンターの内部温度が異常です。 →プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。それでもメッセージが消えない場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
消灯	点灯	TR HEAD 01 ～ 0F	感熱ヘッドの動作不良です。 →プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。それでもメッセージが消えない場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
消灯	点灯	TR FAN 90 ～ 9F	プリンター内部のファンに異常が発生しました。 →プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。それでもメッセージが消えない場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
消灯	点灯	SAVE ERR	プリンター内部に設定値の保存ができませんでした。 →プリンターの電源を切り、再度電源を入れて設定保存を再度行ってください。それでもメッセージが消えない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
消灯	点滅	WAIT	プリンター内部の紙の排出中です。 →処理が終了するまでしばらくお待ちください。
消灯	点灯	WAIT	プリンター内部の処理中です。 →処理が終了するまでしばらくお待ちください。
消灯	点灯	SWITCH LVR	メディア切換レバーの位置とリボンの種類が合っていません。正しい位置に合わせてください。（15ページ）

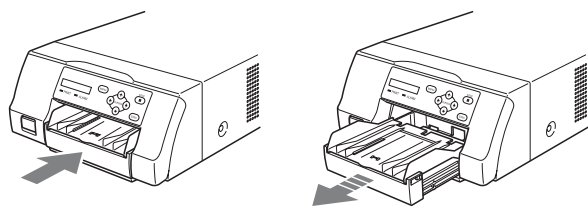
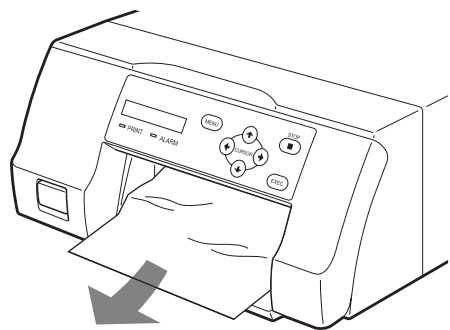
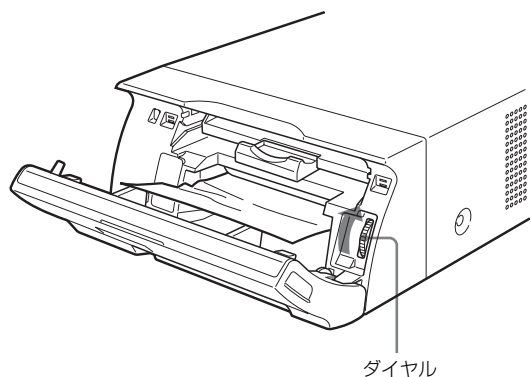
*　連続印画中は点灯
**51のときのみ点灯

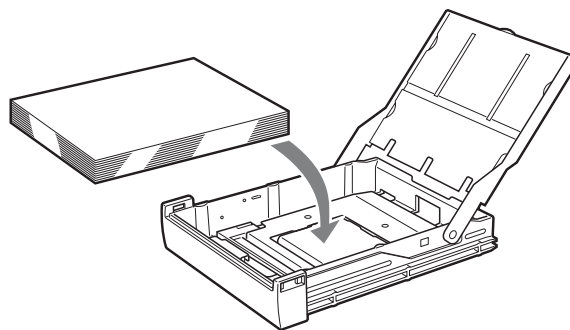
その他

サービス窓口にお問い合わせの際は、液晶ディスプレイに表示されたメッセージ内容と英数字（表示がある場合）をお伝えください。

詰まったプリント紙を取り除く

プリントが始まってから、リボンドアパネルの ALARM ランプが点灯したり、コンピューターのモニター画面に「紙詰まりが発生しました。プリント紙を取り除いてください。」、「紙詰まりが発生しました。印刷を中止します。プリント紙を取り除き、もう一度印刷してください。」または「プリンターの動作に問題が発生しました。印刷を中止します。電源を入れ直して、もう一度印刷してください。」というメッセージが出た場合は、プリンター内部で紙詰まりが起きている可能性があります。
次の手順で、詰まったプリント紙を取り除いてください。

1 給紙トレイの ⏏ マークの部分を押して、給紙トレイを取り出す。

2 途中で詰まっているプリント紙を取り出す。

詰まったプリント紙が奥にあって取り出せないときは、リボンドアパネルを開き、ダイヤルを上に回してください。奥に詰まったプリント紙が排出されます。

ダイヤルを回しても詰まったプリント紙を取り出せないときは、「詰まったプリント紙が取り出せないときは」（31 ページ）を参照してください。

3 プリント紙を正しくセットする。

ご注意

・手順 2 で取り出したプリント紙は使用しないでください。
・本機で推奨しているプリントパック以外のプリント紙を使用しないでください。

4 給紙トレイをプリンターに取り付ける。

詰まったプリント紙が取り出せないときは

詰まったプリント紙が取り除けない場合は、次の手順でプリンターの底板を開いて、詰まったプリント紙を取り除いてください。

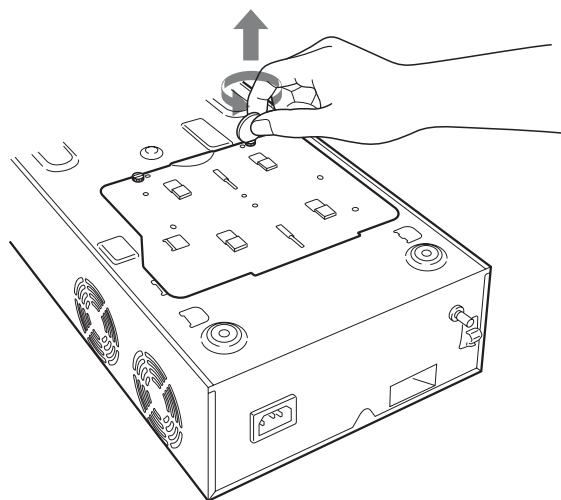
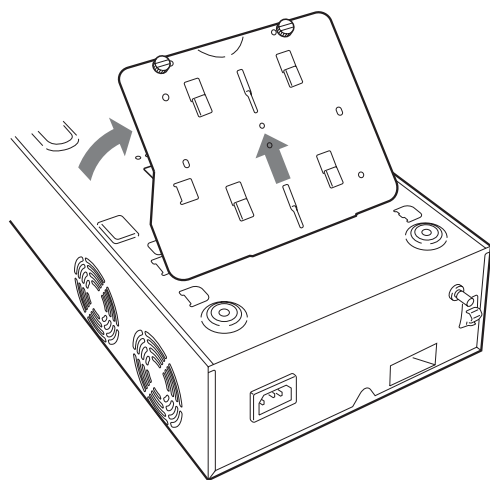
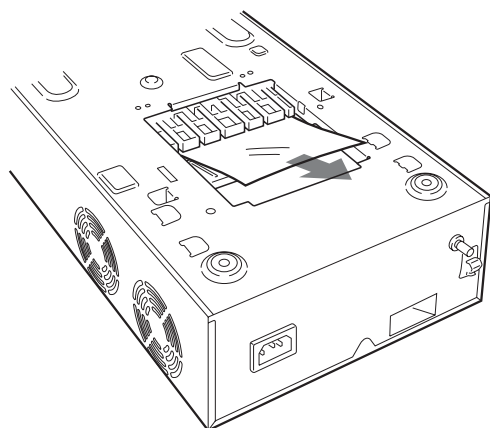
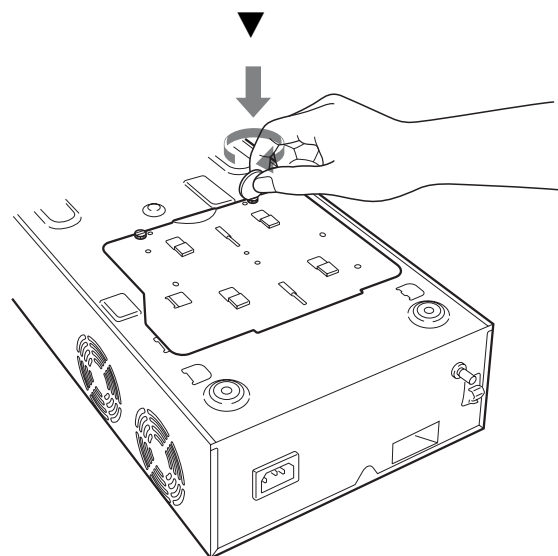
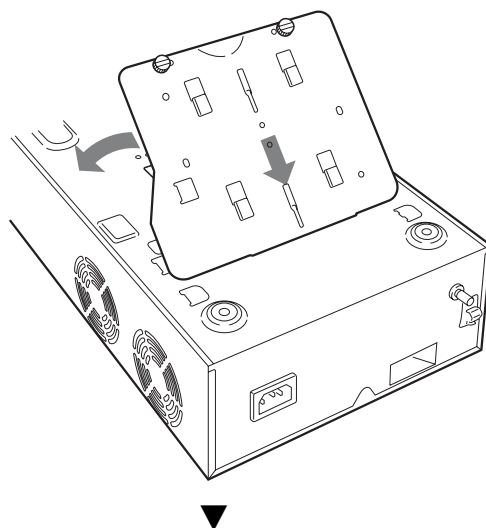
ご注意

・以降の手順で詰まったプリント紙を取り除くときは、⏻ POWER スイッチを押して電源を切るだけではなく、コンセントから電源コードを抜いてください。
・プリンター本体を裏返す際は、接続コード類をはずしてください。折れたり、曲がったりすることにより、火災・感電の原因になることがあります。
・プリンターの内部に詰まっているプリント紙を取り除くために、プリンター内部の部品に触るときは、内部の部品でけがをしないようにご注意ください。

1 ⏻ POWER スイッチを押してプリンターの電源を切り、電源コードを抜き、USB ケーブルも抜く。

2 給紙トレイをプリンターから取り出す。

3 プリンターを裏返す。

4 硬貨などを使って、底板を止めているビス２本を取りはずす。

5 底板を持ち上げ、プリンターからはずす。

6 詰まったプリント紙をゆっくりと取り除く。

7 底板を元どおり取り付ける。

ご注意

底板を取り外したままではプリントできません。

詰まったプリント紙がどうしても取り除けない場合は

無理に取り出そうとせず、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。